

各 位

会 社 名 オンキヨー株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 大 舘 宗 徳
 (J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 取締役経営企画室長 林 亨
 電 話 番 号 0 6 - 6 2 2 6 - 7 3 4 3

2019年3月期通期連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)連結業績予想値と本日公表いたしました決算値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2019年3月期連結業績予想値と決算値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	46,000	100	△800	600	円 銭 5.62
今回実績(B)	43,836	△1,052	△1,676	34	0.32
増減額(B-A)	△2,164	△1,152	△876	△566	—
増減率(%)	△4.7%	—	—	△94.3%	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	51,533	△1,023	△1,947	△3,426	△35.95

(注) 2019年3月期の1株当たり当期純利益は、2019年3月18日実施の第5回新株予約権の行使による新株式の発行分(3,600,000株)を含めた期中平均発行済株式数から期中平均自己株式数を除いた株式数107,949,423株により算出しております。

2. 差異の理由

売上高は概ね前回予想どおりの実績となりましたが、営業利益については、販売代理店への貸倒引当金の取り崩しが時期尚早と判断したこと、子会社において追加で貸倒引当金の計上を行ったこと等により約400百万円、インドの合弁会社の移管遅れによる操業度ロス増加、及び販売促進費用の増加等により約600百万円、利益が減少することとなり、前回予想値を1,152百万円下回りました。一方、経常利益については、支払手数料及び為替差損が想定より約300百万円減少した結果、前回予想値から876百万円減少することとなりました。

また、本日(2019年5月24日)公表いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり減損による損失を計上することとなり、圧縮記帳積立金取り崩しによる法人税等調整額を計上いたしました。また、親会社株主に帰属する純利益が前回発表時から下回ることとなりました。

以 上